



給食会だより

第164号

【公財】川崎市学校給食会



〒210-0004 川崎区宮本町6番地（明治安田生命ビル4F）

TEL 200-3298,3300 FAX 222-1442

方向性が決まる年 ～学校給食費の公会計化に向けて～

公益財団法人川崎市学校給食会理事長 本間 俊

新年明けましておめでとうございます。

今年は、「庚子（かのえ・ね）年」です。動きがあり、新しいものを作ろうとされる年とされています。加えて十二支のトップということもあるのでしょうか、「子」という名称が建造物に使われるケースがあります。誰もが知っている「甲子園」（こうしえん）は、1924年「甲子（きのえ・ね）」の年に球場が完成したことにより命名されたというのは有名な話です。全国的に有名ということではありませんが、「子ノ神社」「子の神社」「子乃神社」（いずれも、ねのじんじゃ）と呼ばれる神社が全国にあります。大国主命（おおくにぬしのみこと）を祭神にしている点では共通です。川崎市内の早野にもあります。神社の近くには、七つのため池がある聖地公園もあり、散策すると気持ちのよい地域です。

そんな「子年」の給食会における今年の課題です。安全・安心な給食の提供ということは不変の課題ですが、時の流れの中の課題という公会計化の方向性が決まることへの対応に尽きると言えます。



早野にある「子ノ神社」

日頃から学校現場には、給食会への給食費送金書の件ではご苦勞をおかけしています。特に栄養士が在籍していない巡回小学校の担当者や中学校での負担の大きさを感じているところでは、今年度も過年度未納者のいる中学校の学校訪問を実施させていただきました。その時に川崎市が、令和3年度には公会計化を予定していると明言しているため、近い将来には給食会と学校との送金書のやり取りが無くなりますという話をすると、担当の先生の表情に少しほっとした雰囲気を感じました。給食費の会計事務が無くなるということは学校現場にとっては朗報であることに間違いはないと思います。

ただ、公会計化によって変わっていくのはそれだけではありません。学校と送金書のやり取りをしてきた給食会の仕事の中身も、それが無くなるので当然変わっていくと考えられます。教育委員会では詳細についての協議が進められていますが、給食会としても決まった方向性に対する対応をしっかりとやっていきたいと考えています。

一方変わらないこともあります。少なくとも今年のうちは、給食事務の制度に大きな変更はありません。また、各学校の給食を食べる児童生徒と教職員等の数をシステムに入力する作業については公会計化になっても継続されていくはずで、その点については、間違いがないかしっかりと確認をする体制を維持していただきたいと思います。

いずれにしてもこの一年お世話になりますが、どうぞ、よろしく願いいたします。

給食でお馴染みの葉物類

名前	画像	特 徴	献立画像
キャベツ		キャベツは、アブラナ科アブラナ属の多年草。野菜として広く利用され、栽培上は一年生植物として扱われる。古代よりイベリア人が利用していた原種がケルト人に伝わり、ヨーロッパ中に広まったとされるが、当時は薬草として用いられ、古代ギリシャ・古代ローマでは胃腸の調子を整える健康食として食されていた。1874年、内務省勸業寮がのちの三田育種場で欧米から取り寄せた種子で栽培試験を行ったのが、日本での本格的な生産の始まりとされる。	 R1. 10. 25 (D 献立) キャベツとコーンのスープ
白菜		白菜はアブラナ科アブラナ属の二年生植物。日本では冬の野菜として、栽培・利用されている。原種であるブラシカ・ラパは、紀元前の中国に伝わると栽培されるようになり、様々な野菜を生んだ。7世紀の揚州で、華北のカブ（アジア系）と、華南のパクチョイが交雑して生じた牛肚菘（ニウトウソン）が、最初の白菜と考えられている。日本で結球種の白菜が食べられるようになったのは、20世紀に入ってからである。	 R1. 10. 21 (C 献立) 八宝菜
小松菜		小松菜はアブラナ科の野菜。別名、冬菜、鶯菜。ツケナ類の一種で、江戸時代初期に現在の東京都江戸川区小松川付近で、ククタチナを品種改良して栽培され始めた。将軍吉宗の鷹狩りの際に献上され、そのときに地名から小松菜の名がつけられたといわれる。関東地方で古くから親しまれた野菜で、東京近郊での栽培が多いが、現在では大阪府・兵庫県・愛知県・福岡県などの日本各地の大都市近郊でも盛んに生産されている。	 R1. 10. 3 (C 献立) 煮びたし
チンゲン菜		チンゲン菜は、アブラナ科の青菜系の野菜。中国野菜の中でも身近な野菜の1つとなっている。和名はタイサイ（体菜）。白軸のものはパクチョイ（白菜。日本語ではハクサイとの区別のため、「しろ菜」とも表記される。）。原産地は中国華南地方。日本には1970年代の日中国交回復の頃に入ってきたと言われる。露地ものにおいては秋が旬とされているが、生育期間が40日から50日と短いうえ、気温の変化に比較的強いことから、1年中市場に出回っている。	 R1. 11. 14 (D 献立) 春雨の中華スープ
ほうれん草		ほうれん草は、ヒユ科アカザ亜科ホウレンソウ属の野菜。雌雄異株。高温下では生殖生長に傾きやすくなるため、冷涼な地域もしくは冷涼な季節に栽培されることが多い。冷え込むと軟らかくなり、味がよりよくなる。ほうれん草の原産地は、中央アジアから西アジア、カスピ海南西部近辺と見られているが野生種は発見されていない。ヨーロッパには中世末期にアラブから持ち込まれ、一般的になった。東アジアにはシルクロードを通して広まり、中国には7世紀頃、日本には江戸時代初期に渡来した。	 R1. 11. 7 (C 献立) キムチビビンバ

野菜の写真は、給食物資とは関係ありません。

献立の写真は中部学校給食センター給食献立より。

特徴の解説は Wikipedia 等より